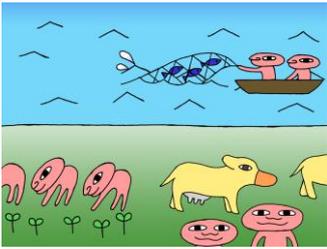


インデ島問題

【かつてのインデ島の姿】



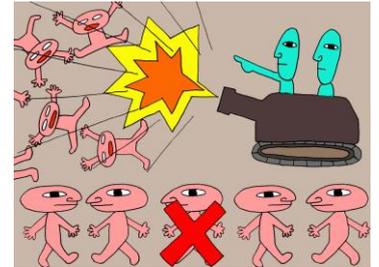
大海原に浮かぶ小さな島、インデ島には、インデ人という先住民がいます。インデ人は、インデ語を話し、採取・農耕、カモノウシの遊牧や漁業をしながら、島中を移動して暮らしていました。

インデ人たちは、豊かな暮らしをもたらすインデ島自体を信仰の対象としていました。そして伝説で島の始まりの地とされる丘「始まりの丘」とインデドラゴンをインデ島のシンボルとして大切にしていました。

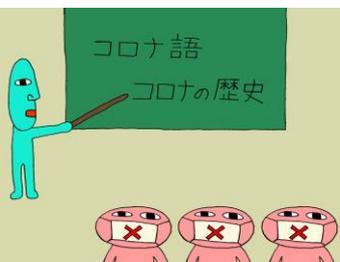
【プランテーション時代】

コロナ国の探検隊によって発見されて以降、コロナ国の領土に組み入れられたインデ島。インデ人はこれまでのように、島中を移動しながら生活することはできなくなりました。自給自足の生活スタイルはなくなり、コロナ国の持ち込んだ貨幣を使った分業社会に変わったのです。

インデ人の1割くらいは、与えられた土地で成功しましたが、ほとんどのインデ人はプランテーションの労働者となりました。



コロナ政府は「インデ人をコロナ国民にする」ことに注力します。まず、インデ人向けに学校を建設します。コロナ語を国語として教え、インデ語の使用を禁止しました。



インデ島の植民地化を、コロナ国社会全てが良しとしていた訳ではありません。コロナ国の左派政党やメディアが、インデ島に対する政策への批判を始めます。こうした世論の後押しを受けて、インデ保護法が施行されます。保護法では、教育機関におけるインデ語へのアクセス、自然崇拜信仰の解禁と保護、インデ人が丘に集

う日をインデの日として祝日にするなどが盛り込まれました。保護法に勇気付けられたインデ人の何割かは、島全体の返還運動や返還訴訟を始めますが、これらは全く認められませんでした。

【総合リゾート時代】



燃料価格の高騰や、サトウキビ価格の下落、度重なる天候不順などの影響で、プランテーション経営が破綻します。不況を打破する切り札として出てきた構想が、温暖な気候を生かした総合リゾート計画です。この計画は、失業しているインデ人からは歓迎されました。インフラ整備やリゾート開発により、多くの雇用が生まれるからです。インデ島はリゾートの島として生まれ変わりました。インデ人資本によるカジノもできました。かつてプランテーションで働いていたインデ人たちは、リゾート施設やカジノの従業員として働いたり、インデ文化ショー

のエンターテイナーとして働いたりもしており、全般的にプランテーション時代よりも多くの収入を得るようになってゆきます。

しかし、良いことばかりではありません。リゾートになるのと同時に、インデ島では、アルコール依存症や薬物中毒、ギャンブル依存症などが社会問題となってゆきます。

【インデ島に石油が出た】

インデ人の居留地にある始まりの丘のあたりに、石油が埋蔵されていることがわかったコロナ政府は、油田の開発計画を進めています。現在は、油井を設置する丘、油井周辺のインデ人居留地の土地、パイプラインが通る予定のインデ人居留地の土地を政府で買い上げるプロセスが進行しています。

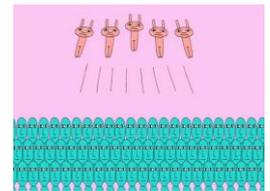
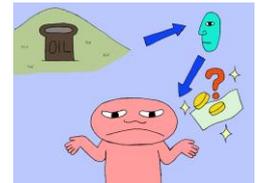


<<<インデ人>>>

インデ人社会では、かつての反乱以来の大きな反コロナ運動が沸き起こります。反コロナ運動の中心となったのは、かねてより、不満を表明していたインデナショナリストの人々です。彼らのかねてよりの主張は、インデ人社会の信仰の場所である丘に油井という穴が開くこと、現在の居留地の土地も明け渡すように要求されているという現在の状況も相まって、急速に支持を集めています。

現在のインデ人世論は大体3つに分かれています。みんなが共有する感情としては、伝説の丘やその周辺が油田となることへの反感、警察力などを背景とした強制土地収用や、追放に対する恐怖と危機感があります。

1. 「リアリスト派」：油田開発もしょうがないと考える人々。反対しても最終的にはなすすべはないのだから、1) 油田開発で出る利益をインデ人社会にどれだけ還元させるかに注力したほうが良い、2) 油田開発で土地を引き渡すのと引き換えに、さらなるアフーマティブアクションをコロナ政府から引き出したほうが良い。
2. 「油田開発反対派」：インデ人居留地に対する開発は許せないという立場。プランテーション後のインデ島以上の発展は望まないし、これ以上環境が壊されることは我慢できない。開発によって、聖なる丘だけでなく、居留地に面した海辺も破壊される。インデ人の歴史の否定
3. 「分離独立派」：インデ人は、歴史的にコロナ国に弾圧を受けてきた。反乱の際には2万人もの人を殺され、生活圏を奪われ、生活様式や文化も奪われてきた。この上インデ人の信仰のよりどころである丘まで取られようとしている。こんなだったら、コロナ国から独立するか、コロナ国の中での高度な自治権が欲しい。



<<<コロナ人>>>

コロナ国の世論も割れています。

1. 先住民の権利に敏感な人々、環境問題に敏感な人々などは油田開発に反対をしています。
2. 一部ではありますが、インデ島の独立を支持している人々もいます。
3. しかし、コロナ国の国益を重視する人々は、総合リゾートで莫大な国家予算を投資してもらった上に、カジノ特権を得ているインデ人が文句をいうのは身勝手であると考えています。何よりも、石油が出れば、エネルギー自給率も上がるし、産油から得られる利益は、国民を豊かにします。インデ人も国籍はコロナ人なのだからコロナ全体の利益を考えるべきだと考えています。

